

指定管理者のモニタリングシート

1、基本情報確認年月日:令和7年12月1日

施設名	石川啄木記念館・盛岡市玉山歴史民俗資料館		
住所	盛岡市渋民字渋民9		
指定管理者名	公益財団法人盛岡市文化振興事業団	所管課名	歴史文化課
指定管理料(年額)	34,740,988円		
今回確認期間	令和 6 年 12 月 1 日 から令和 7 年 11 月 30 日 まで (12 ヶ月間)		

2、業務の履行状況の確認について

(1)稼働実績

項目		今期計画	今期実績
開館日数		198	198
延べ利用者数	個人	7,000	15,617
	団体	2,000	3,279
主要事業開催回数	展示活動事業(企画展、移動展)	6	8
	教育普及活動事業(講演会、講座、ワークショップ等)	28	28
	教育普及活動事業(出前講座)	20	22
	教育普及活動事業(入門講座、館内講座)	20	38
	共催事業	10	10

(2)管理運営実績

項目		確認欄
設置目的	施設の設置目的及び市の施策の成果向上に果たす施設の役割を理解し、これらに沿った管理運営がなされているか。	○適・要改善
平等利用	市民・利用者の平等な利用が確保されているか(一部の市民・利用者に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることが行われていないか。)	○適・要改善
施設の効用の発揮	施設管理	
	建物・外構の保守・点検は仕様書等に基づき行われているか。	○適・要改善
	設備の保守・点検は仕様書等に基づき行われているか。	○適・要改善
	建物、外構、設備の修繕の履歴は整理、保管されているか。	○適・要改善
	現金・備品等の管理	
	現金は適正に管理されているか。	○適・要改善
	鍵は適正に管理されているか。	○適・要改善
	施設に配置されている備品が適正に記録・管理されているか。	○適・要改善
	備品の購入、廃棄、修繕の記録について整理、保管されているか。	○適・要改善
	事業実施	
	仕様書及び事業計画書で実施することとしている事業が実施されているか。	○適・要改善
	危機管理	
	危機対応の手順は整備されているか。	○適・要改善
管理能力の確保	適正な人数の職員が配置されているか。	○適・要改善
	職員の資質向上のための研修等の取組みが実施されているか。	○適・要改善
	適正な労働条件が確保されているか。	○適・要改善

(2)管理運営実績(続き)

項目		確認欄
個人情報保護	施設で取り扱う個人情報は、特記仕様書に基づき扱われているか。	○適・要改善
その他	市と指定管理者の間で指定管理業務について記録することとしている事項について、記録が整備されているか。	○適・要改善
	あらかじめ市に協議するべき事項について、適時に協議がされているか。	○適・要改善
	市と指定管理者の間で指定管理業務について報告することとされている事項について、適時に報告がなされているか。	○適・要改善

3、サービスの質の確認について

(1)サービス提供の状況

項目		確認欄
職員対応	職員の身だしなみは適切か。	○適・要改善
	利用者への対応のマナーは適切か。	○適・要改善
	利用者に対する職員の案内、説明は分かりやすく丁寧に行われているか。	○適・要改善
施設管理	施設は清潔に保たれているか。	○適・要改善
	施設内の案内が利用者にわかりやすく表示されているか。	○適・要改善
	施設は利用者が利用目的に沿って安全に使用できる状態になっているか。	○適・要改善
要苦望情	利用者からの苦情・要望に対し、適切な対応がなされているか。	○適・要改善
	利用者からの苦情・要望について、市への連絡報告が適切に行われているか。	○適・要改善
利用促進	事業実施の周知が適切になされているか。	○適・要改善
	事業内容は利用者のニーズに合っているか。	○適・要改善
	ホームページは「公の施設の指定管理者のインターネット利用指針」に沿って作成されているか。	○適・要改善

4、指定管理者が施設の管理運営及びサービスの質を向上させるために工夫した事項

・来館者からの指摘や日常的な見回り等により、安全面や利用面で修繕が必要な箇所について、担当課である歴史文化との連携のもとで対応を図った。 ・来館者が気持ちよく利用できるよう、地域の関係機関団体等との連携の下、施設内外の環境整備に努めた。 ・展示室や収蔵庫の環境を適切に保つため、日常的な点検と対応に努めるとともに、県立博物館の指導や支援を受けながら対応を図った。 ・盛岡中央消防署との連携による防火訓練やクマ対策等、利用者が安全安心できる取組を進めた。 ・接客に関する研修を受講し、その成果を日常の業務に活かすよう、職員全員で努めた。

5、モニタリング結果を踏まえた今後の管理運営の方向性

指定管理者	所管課
引っ越しや準備を含め、石川啄木記念館と玉山歴史民俗資料館が複合施設としてリニューアルオープンした初年度であったが、職員の共通理解を図りながら新しい施設の設備に慣れることができた。また、例年の事業に加え、記念事業等にも新たにに取り組むことができ、円滑なスタートを切ることができた。この1年間の経験を礎に指定管理期間の3年間で館運営の基盤の構築を図っていきたい。	施設の設備については、適宜状況について報告・相談され、適切に維持管理されていた。 また、事業については企画展を始めとし、啄木祭や俳句大会、短歌大会等のイベントにも多数取り組まれ、リニューアル1年目にふさわしい充実したものだった。 今後も相互の情報共有を密にし、館の安定した運営に向けて取り組んでいただきたい。